

接着のエッセンスを手中に収め、臨床のレベルアップへつなげる!

HYORONブックレット

歯質接着の今を知り 未来を語る

良好な予後を確実にするために

編著

宮崎真至

日本大学歯学部保存学教室修復学講座 教授

■日常臨床に欠かせない“接着”は接着技術が日々進歩しています。しかし接着は“テクニクセンシティブ”であり、また各種処理材の選択、操作方法や手順、処理時間などが複雑なため、接着の成否は術者の知識や技術に大きく左右されます。

■本書では、確実な接着を獲得するために必要な知識である各接着システムの特徴や選択基準、良好な予後を得るためのテクニックや臨床ポイント、さらに患者満足度を得るための術前のコンサルテーションなどについて、エキスパートが詳しく解説しています。

■接着システムの性能を活かし、効率的かつ確実な治療を行うためにお役立てください。

A4変判・80頁・オールカラー
定価5,280円(本体4,800円+税10%)



HYORONブックレット

月刊『日本歯科評論』誌上でご好評いただいた特集などを、雑誌掲載後の情報も適宜追加し、ワンテーマの書籍として読みやすく再編するシリーズです。

株式会社 **ヒョーロン**・パブリッシャーズ

〒162-0041 東京都新宿区早稻田鶴巻町531-5 OKADOビル
Tel.03-6709-6771 Fax.03-6709-6774
<https://www.hyoron.co.jp>

歯質接着の今を知り未来を語る

良好な予後を確実にするために

内容紹介

- I コンポジットレジン修復の新時代への展開
.....宮崎真至
- II ユニバーサルアドヒーシブの有用性を知る
.....辻本暁正・宮崎真至
- III ユニバーサルアドヒーシブの臨床使用のポイント
.....高見澤俊樹・宮崎真至
- IV 間接修復でのユニバーサルアドヒーシブの適切な臨床応用
.....新谷明一
- V そもそも接着システムの選択をどう考えるか
——臨床的観点から.....須崎 明
- VI どのようにして接着性を獲得するか
——研究的観点から.....峯 篤史・矢谷博文
- VII 接着システムの取り扱い
——確実な接着を獲得するために.....高橋真広・保坂啓一
- VIII 確実な接着性とラバーダム法
——その必要性について.....秋本尚武
- IX マイクロスコープの活用が確実な接着を担保する
.....相岡宣好
- X コンポジットレジン修復における難症例への対応
.....大谷一紀
- XI コンポジットレジン修復のコンサルテーション
.....天川由美子